

令和3年度

教育委員会の事務執行に関する点検評価報告書

令和4年3月

皆野町教育委員会

教育委員会の事務に関する点検評価

1 趣 旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行いその結果に関する報告書を公表することとされています。

皆野町教育委員会では、同法の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資すると共に、町民への説明責任を果たすため、「教育委員会の事務に関する点検評価」を実施し、報告書にまとめました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(昭和31年6月30日法律第162号)より抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検評価の目的

この点検評価は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する基本方針に沿って具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後にチェックすることにより、地域住民に対する説明責任を果たし、効果的な教育行政の推進に資することを目的としています。

3 点検評価の対称及び方法

皆野町では、第5次皆野町総合振興計画「住んでみたいまち 住み続けたいまち ときめきの皆野」に基づき、教育行政を推進しています。そして本計画に基づき実施されている46の具体的な施策について、成果指標の達成状況及び各事業の取組状況を踏まえて点検評価実施しました。その後、課題、今後の展望を明らかにし、PDCAサイクルに基づいた継続的な教育行政の推進に資することとしました。

4 教育行政施策

要 点

- 豊かな心と多彩な文化を育むまち—教育・文化の向上—を基本にすえ、
- ふるさとを愛し、夢と志をもち、未来を切り拓くことのできる人間の育成を目指す
- 「生きる力」（確かな学力・豊かな心・健やかな体）を育む
- グローバル化に対応し、我が国と郷土に誇りをもち、コミュニケーション能力を有し、国内外で活躍する人材を育成する
- 町民一人一人が自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたり学びを支援する
- コロナ禍における新しい生活を踏まえた教育活動を推進する

I まちづくりの主要目標

豊かな心と多彩な文化を育むまち

II 基本理念

心にふるさとと夢を宿し、生きる力を培う教育と文化の町をめざす皆野教育

III 推進する施策

- 1 確かな学力と自立する力の育成
- 2 豊かな心と健やかな体の育成
- 3 質の高い教育環境の整備
- 4 伝統文化継承と文化財保護・活用の推進
- 5 「ひと」が輝くまちづくり

IV 重点施策

推進する施策		重 点 施 策	
1	確かな学力と自立する力の育成	①	一人ひとりの学力を確実に伸ばす教育の推進 ア みんなの教育プランの推進 イ ICT教育の推進と情報活用能力の育成 ウ 皆野っ子自主学習ノートの活用
		②	基礎基本の定着と思考・判断・表現力を養う教育の推進 ア みんなの教育プランの推進 イ 主体的・対話的な深い学びの視点からの授業改善 ウ 学校司書・図書支援員を活用した学校図書館教育の充実
		③	キャリア教育・職業教育の推進 ア 園・学校における体系的・系統的なキャリア教育の推進 イ キャリアパスポートを通じた小中連携の推進

		④	グローバル化に対応した外国語教育の推進 ア みんなの教育プランの推進 イ 早稲田大学との連携を通じた外国人留学生等との交流
		⑤	幼稚園・小・中学校12年間を一貫した教育の推進 ア 「みんなの学校プロジェクト」幼小中一貫キャリアカリキュラム（みんなの学）の具現化 イ 特別支援教育指導員を活用した特別支援教育の推進
2	豊かな心と 健やかな体 の育成	①	幼児教育の充実 ア 「魅力ある幼稚園づくり」の研究 イ 潤いのある園庭整備 ウ 人間の根っこづくり「乗り越える力」「たくましい力」の育成
		②	全教育活動を通じた人権教育・道徳教育の推進 ア みんなの教育プランの推進 イ 学校同和教育に係る教員の指導力の向上 ウ 道徳教育推進教師を中心とした指導体制の確立
		③	生徒指導・教育相談の充実 ア みんなの教育プランの推進 イ 健康こども課、児童相談所と連携したいじめ・不登校対策の充実 ウ 適応指導教室の充実
		④	食育の推進 ア 栄養教諭を活用した食育授業実践 イ 「魅力ある給食センターづくり」の推進
		⑤	生涯スポーツ・地域スポーツの推進 ア 児童生徒の体力の向上 イ マレットゴルフの普及とマレットゴルフ場の利用者拡大 ウ 温水プールの効果的な活用・利用者拡大
3	質の高い教育環境の整備	①	子どもたちの安全・安心の確保 ア コロナ禍における感染予防対策と健康教育の充実 イ 交通安全教育・防災教育の充実
		②	教職員の資質向上 ア ICT活用指導力の向上（研修とサポート体制の充実） イ 指導主事・学校教育指導員による指導助言及び研修体制の充実 ウ 教職員不祥事根絶のための計画的・組織的な取組の推進
		③	学習環境の整備・充実 ア 一人一台端末の積極的活用 イ 大型タッチパネル・書画カメラ等の設置と活用推進
		④	チーム学校づくり ア 学校における働き方改革の推進 イ コミュニティ・スクールを通じた地域と連携・協働した教育の推進

4	伝統文化継承と文化財保護・活用の推進	①	郷土芸能等の後継者の育成 ア 伝統と文化を尊重する教育の推進 イ 後継者育成の推進
		②	文化財の保護・活用 ア 個人所有等を含めた文化財の調査・記録・保存の管理指導の推進 イ 案内板等の充実や見学場所としての活用の推進
		③	文化・芸術活動の振興 ア 文化会館等を活用した文化芸術活動の推進 イ 文化芸術活動等への支援、発表機会及び文化交流の推進
5	「ひと」が輝くまちづくり	①	人権・同和対策の推進 ア 正しい知識・理解を深めるための研修会等の啓発事業の推進 イ 同和問題をはじめ、障害、疾患等への偏見・差別解消のための活動の推進
		②	男女共同参画社会の実現 ア セクシャルハラスメントやDV等の防止活動の推進 イ 男女平等を実現する啓発活動の推進
		③	国際理解教育・国際交流の推進 ア 外国人と交流し文化等に接する機会の提供

5 重点施策の点検評価

1 確かな学力と自立する力の育成

①一人ひとりの学力を確実に伸ばす教育の推進	
具体的事業	成果及び課題
ア みんなの教育プランの推進 ・小1～中3までの目標とする家庭学習時間の推奨 ・英語検定の3級取得の推奨	・みんなの教育プランに掲げた各学年の家庭学習時間が目安となり、小中ともに、児童生徒の家庭学習の習慣化が図れている。 ・中学3年生の英語検定3級以上取得生徒割合は、29.6%（1月8日現在）であった。
イ ICT教育の推進と情報活用能力の育成 ・授業でのタブレット使用の促進 ・デジタル教科書の使用	・学習内容の確実な定着を図る手段として、授業でのタブレットの活用を積極的に取り組んだ。皆野小の生活科と社会科、皆野中の数学科では実証実験としてデジタル教科書を活用して学習内容の確実な定着や個別最適な学びを推進することができた。
ウ 皆野っ子自主学习ノートの活用 ・教員・保護者向け活用事例紹介 ・家庭学習での使用の推奨	・「みんなのっ子家庭学習のすすめ」リーフレットを全児童生徒に配付し、活用事例を紹介したことで、家庭学習の質の向上が見られた。皆野っ子自主学习ノートは、1月8日現在小学生は平均4.7冊、中学生は平均3.9冊活用されている。

②基礎基本の定着と思考・判断・表現力を養う教育の推進	
具体的事業	成果及び課題
ア みんなの教育プランの推進 ・小学生パワーアップテストの実施 ・リーディングスキルテストの実施	・12月初旬に業者作成の小学校パワーアップテストを全学年で実施し、既習事項の定着度の確認と教師による授業改善に生かすことができた。 ・中学校では、リーディングスキルテストを2月に実施した。
イ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ・皆野町学力向上リーフレットの作成・配付	・皆野町学力向上リーフレットの作成・配付を通じて、授業改善を図り、児童生徒が主体的に学習に臨む姿が多くみられるようになった。
ウ 学校司書・図書支援員を活用した学校図書館教育の充実 ・皆野中学校の取り組みの各小学校への普及 ・図書室図書利用奨励	・学校司書・図書支援員を活用し、学校図書館教育の充実を図ったことで、図書室の図書利用割合が増え、読書好きな児童生徒が増加した。
③キャリア教育・職業教育の推進	
具体的事業	成果及び課題
ア 園・学校における体系的・系統的なキャリア教育の推進 ・特別の教科道德・総合的な学習の時間・特別活動におけるキャリア教育の位置づけ	・特別の教科道德・総合的な学習の時間・特別活動において、キャリア教育の位置づけを明確にしたことで、園・各学校において、地域の人材を活用しながら体系的・系統的なキャリア教育を推進できた。
イ キャリアパスポートを通じた小中連携の推進 ・キャリアパスポートの活用 ・キャリアパスポートの小中高への継続活用	・全児童生徒がキャリアパスポートを活用し、目標を設定したり、自己を見つめ直したり、行動を振り返ったりする活動を通じて、キャリア教育の充実が図れた。また、小中連携の推進にも寄与した。
④グローバル化に対応した外国語教育の推進	
具体的事業	成果及び課題
ア みんなの教育プランの推進 ・英検公費負担による受験促進 ・幼小中を通じた英語教育プラン作成	・年3回皆野中学校を準会場とし、英語検定を実施した。英検公費負担利用者人数（第2回まで）は、小学生で12名、中学生で56名であった。また、中学3年生の英語検定3級以上取得生徒割合は29.6%（1月8日現在）であった。
イ 早稲田大学との連携を通じた外国人留学生等との交流 ・外国人留学生との交流事業の実施 ・英語での会話の機会増	・自国の文化を見つめ直したり、他国の文化を尊重したりするグローバルリズムな視点がもてる生徒を育成するため、外国人留学生との交流計画案を作成した。
⑤幼稚園・小・中学校12年間を一貫した教育の推進	
具体的事業	成果及び課題
ア 「みんなの学校プロジェクト」幼小中一貫キャリアカリキュラム（みんなの学）の具現化 ・みんなの学開発チーム組織化 ・皆野町の知識の習得 ・幼小中教員の交流・情報交換	・「みんなの学校プロジェクト」幼小中一貫キャリアカリキュラム（みんなの学）の推進を図り、全教職員にその意義や目的を周知した。

イ 特別支援教育指導員を活用した特別支援教育の推進 ・教育形態変更等の理解促進	・特別支援教育推進計画「皆野町の特別支援教育」を策定し、関係機関と連携を図りながら支援を推進した。 ・就学支援委員会の答申を活用し、適切な教育形態変更への合意形成を実施した。
--	--

2 豊かな心と健やかな体の育成

①幼児教育の充実	
具体的事業	成果及び課題
ア 「魅力ある幼稚園づくり」の研究 ・特色ある保育の検討 ・冬休みの預かり保育実施 ・未就園児保育「み～な教室」の実施	・良いところを認めて伸ばす保育をモットーに、園児や保護者に寄り添うきめ細やかな保育が行われた。また冬休みの預かり保育の実施や未就園児保育「み～な教室」の実施を通じて、保護者の理解や協力が得られるようになった。
イ 潤いのある園庭整備 ・園庭整備設計業務委託 ・芝生化面積の増	・遊具の安全基準に準拠した新しい遊具の更新のための調査や設計を実施した。令和4年度には更新工事を実施する。
ウ 人間の根っこづくり「乗り越える力」「たくましい力」の育成 ・自然体験活動（野菜栽培・川遊び） ・道徳性・規範意識の芽生えを深く見取るための教職員向け研修の実施	・園内研修の充実を図り、教職員の園児との関りや保育活動の意義について学ぶことができ、質の高い園保育を推進することができた。また、自然体験活動（野菜栽培・川遊び）を多く取り入れるなかで、道徳性・規範意識の芽生えや思いやりの心を育むことができた。
②全教育活動を通じた人権教育・道徳教育の推進	
具体的事業	成果及び課題
ア みな教育プランの推進 ・皆野っ子生活めあて（あいさつ・返事・時間・姿勢）	・園・各校で重点的に、皆野っ子生活めあて（あいさつ・返事・時間・姿勢）を意識して指導したことで、学びに向かう意欲化が図れた。
イ 学校同和教育に係る教員の指導力の向上 ・教職員向け研修の実施	・皆野町教職員夏季人権研修会を実施し、学校同和教育に係る教員の指導力の向上を図ることができた。
ウ 道徳教育推進教師を中心とした指導体制の確立 ・特別の教科道徳の公開授業研究会の実施	・小中全ての学校において、道徳教育推進教師を中心とした指導体制を確立し、特別の教科道徳の公開授業を実施した。
③生徒指導・教育相談の充実	
具体的事業	成果及び課題
ア みな教育プランの推進 ・生徒指導部会・教育相談部会の開催	・各校で生徒指導部会・教育相談部会を定期的・臨時的に開催して情報共有と共通行動をすることができ、組織的・効果的に課題を解決することができた。
イ 健康こども課、児童相談所と連携したいじめ・不登校対策の充実 ・児童相談所と連携した研修の実施	・健康こども課、児童相談所と連携し、いじめ・不登校対策を更に強固にする体制ができた。皆野中学校では、児童相談所と連携した研修に参加した。

ウ 適応指導教室の充実 ・み～な教室の学校実施（分室）	・スクールソーシャルワーカーと連携を図り、不登校生徒3名がみ～な教室で学習した。中学校に繋げるため、週2回は、み～な教室の学校実施（分室）を行った。
④食育の推進	
具体的事業	成果及び課題
ア 栄養教諭を活用した食育授業実践 ・栄養教諭の訪問による食育授業の実施	・栄養教諭による食育授業を小中を含め、80回実施し、食育の推進を図り、児童生徒の食生活への理解や豊かな心の育成に寄与した。
イ 「魅力ある給食センターづくり」の推進 ・学校給食センターの竣工に向けた計画の策定	・皆野町学校給食検討会において、新・学校給食センターの望ましい施設の整備及び運営方法について議論し、その結果を反映した「新・学校給食センター建設基本計画」を策定した。
⑤生涯スポーツ・地域スポーツの推進	
具体的事業	成果及び課題
ア 児童生徒の体力の向上 ・体力テストの分析結果に基づく各校の改善策の取組 ・体力テストの分析結果に基づくスポーツ事業の実施	・体力を高め、運動好きな園児児童生徒を育成するための授業改善を図るため新体力テストの結果の分析や課題解決のための手立てを各校が講じたことで、児童生徒の体力の向上が図れた。
イ マレットゴルフの普及とマレットゴルフ場の利用者拡大 ・町内外への積極的なPR ・多くの人が楽しめるコースづくり	・マレットゴルフ協会(民間愛好会)の協力により、町民大会を2回、教室を3回実施し、マレットゴルフの普及PRが図れた。協会の要望を取り入れて、楽しめるコースの参考とした。 ・2回目の開催となったフォトフィールドイング。101人の方に参加いただき、チェックポイントを歴史的な名所や事業所にすることにより、スポーツ・文化・産業など様々な面で効果を発揮した。
ウ 温水プールの効果的な活用・利用者拡大 ・町内外への積極的なPR ・健康こども課との事業協力	・感染防止対策を実施した上で、事業を開催し児童生徒の体力向上の一助が図れた。また小学校・幼稚園の水泳授業の実施により効果的な活用ができた。 ・新規イベントを開催したことにより、一般の新規利用者の獲得が図れた。

3 質の高い教育環境の整備

①子どもたちの安全・安心の確保	
具体的事業	成果及び課題
ア コロナ禍における感染予防対策と健康教育の充実 ・保健体育科または学級活動における指導	・感染症予防について、保健体育科または学級活動における授業を確実に実施し充実させたことで、コロナ禍における感染予防対策と健康教育の推進が図れた。

イ 交通安全教育・防災教育の充実 ・通学路危険箇所調査の実施と対応	・秩父地区通学路安全検討委員会に、11 件の道路改良等の要望を実施した。そのうち 7 件が第 5 期通学路整備計画において改良をする計画となった。
②教職員の資質向上	
具体的事業	成果及び課題
ア ICT活用指導力の向上（研修とサポート体制の充実） ・アドバイザー事業の実施 ・ギガスクールサポーターの活用	・児童生徒一人一台に整備した端末の活用について、教職員が通常授業やオンライン授業に臨めるように研修を実施した。基礎編・応用編の全 2 回、管理職・授業を行う教員全員を対象とした。 ・端末利用に関する疑問点を解消するため、ICT に精通したギガスクールサポーターを設置した。各校に少なくとも月 1 回訪問してもらい、教職員と直接対話することで、学校のギガスクールに対する不安の解消にも寄与した。
イ 指導主事・学校教育指導員による指導助言及び研修体制の充実 ・月例・要請訪問による指導助言の実施	・月例・要請訪問（10 回）による指導助言を実施したことで、各校の授業改善や教職員の指導力の確実な向上が見られた。
ウ 教職員不祥事根絶のための計画的・組織的な取組の推進 ・不祥事防止研修の実施	・園・各校において、組織的・計画的・継続的な不祥事防止研修を月 2 回以上実施し、教職員の意識改革を図り、教育公務員としてのさらなる資質向上に寄与した。
③学習環境の整備・充実	
具体的事業	成果及び課題
ア 一人一台端末の積極的活用 ・授業でのタブレット使用の促進	・各小・中学校において、タブレットを使用して効率的な授業展開を行うことができた。また、タブレットの持ち帰りも行っており、宿題や課題の電子化も進めることができた。
イ 大型タッチパネル・書画カメラ等の設置と活用推進 ・アドバイザー事業の実施 ・オンライン授業・行事の実施	・感染不安などで欠席している児童生徒に向けて、Google Meet（ビデオ会議機能）を通したオンライン授業を積極的に行うことができた。また、全校朝会なども、大型タッチパネルを利用して各教室に配信することができた。
④チーム学校づくり	
具体的事業	成果及び課題
ア 学校における働き方改革の推進 ・働き方改革基本方針の策定 ・業務の見直し・改善	・各学校にタイムカードを導入し、教職員の出退勤時刻と時間外勤務時間を視覚化することができた。また、月ごとにまとめたデータの提出を義務付けており、働き方改革の推進に寄与した。
イ コミュニティ・スクールを通じた地域と連携・協働した教育の推進 ・コミュニティ・スクールにおける「熟議」の実施	・各コミュニティ・スクールで、学期に 1 回以上学校運営協議会を開催し、「熟議」を実施した。学校の抱える課題等を協議し、地域の方と連携した教育が推進できた。今後も、熟議の充実を図りたい。

4 伝統文化継承と文化財保護・活用の推進

①郷土芸能等の後継者の育成	
具体的事業	成果及び課題
ア 伝統と文化を尊重する教育の推進 ・ 伝統文化体験事業の実施 ・ デジタル教材作成のための事業計画作成と素材収集	・ 伝統文化体験事業は、感染症拡大防止のため実施できなかった。 ・ デジタル教材の素材として、文化財（民具、俳句資料、寺社仏閣、石塔等）のデジタル記録化を実施した。（「②文化財の保護・活用」ア参照）
イ 後継者育成の推進 ・ 各団体の後継者不足等の課題抽出と打開策の検討 ・ 広報用の冊子等を作成及び配付	・ 令和3年8月、民俗芸能保存団体（12団体）に対し、「無形文化財後継者養成費交付金」を交付した。 ・ 令和3年7月、民俗芸能保存団体（8団体）に対し、現況と今後に関する総合アンケートを実施した。 ・ 上記アンケート結果を受け、令和4年度に映像記録事業および民俗芸能ニュース配信を計画した。
②文化財の保護・活用	
具体的事業	成果及び課題
ア 個人所有等を含めた文化財の調査・記録・保存の管理指導の推進 ・ 定期訪問の実施 ・ 保存台帳の全件整備 ・ 企画展の開催	・ 令和3年4月、指定文化財（古文書）保有者（4件）を訪問し、資料点検および保存に関する啓発を実施した。 ・ 国登録有形文化財（建造物）旧壺春堂醫院収蔵資料をはじめとする、町内近代俳句資料の整理作業に着手並びに保存台帳を作成し、成果の一部を企画展「皆野の俳句～戦前編～」として公開した。 ・ 町内の寺社仏閣、石塔の基礎調査を継続して実施した。11月時点で寺社仏閣21、石塔180基を調査した。令和4年度以降、成果を企画展として公開予定である。 ・ 文化財倉庫収蔵の寄贈民具2700点の整理作業に着手し、11月時点で201点完了した。
イ 案内板等の充実や見学場所としての活用の推進 ・ 学校ごとの推奨見学ルート作成 ・ 観光事業との連携による看板設置	・ 令和3年度、劣化が進んでいた「出牛西福寺の五輪塔」及び「下田野西福寺の光明真言塔」の看板修繕を実施した。 ・ 大淵古墳、龍ヶ谷城、長言寺（国神の大イチョウ）に新規看板を設置する計画を立案した。令和4年度に設置する。 ・ 町内の学校ごとに、文化財の見学ルートおよび指導案を作成した。

③文化・芸術活動の振興	
具体的事業	成果及び課題
ア 文化会館等を活用した文化芸術活動の推進 ・文化芸術体験事業の実施	・予定していた「文化・芸術体験事業」「みんなの皆野映画館」はコロナ感染症防止により未開催である。公民館講座「高齢者学級」が高齢者の文化活動として6回開催された。
イ 文化芸術活動等への支援、発表機会及び交流の推進 ・文化団体連合会加盟団体の活動支援	・公民館にて、皆野町文化団体連合会に対して、活動場所としての会場提供や今後の活動にあたっての相談・助言などの支援を行った。

5 「ひと」が輝くまちづくり

①人権・同和対策の推進	
具体的事業	成果及び課題
ア 正しい知識・理解を深めるための研修会等の啓発事業の推進 ・人権・同和問題研修会の開催 ・人権・同和問題の正しい知識の周知	・感染防止対策の観点から、例年、実施している研修会を資料研修として実施し啓発が図れた。また、地区人推協において同和問題に関する現地研修会を実施し、正しい知識の習得につながった。
イ 同和問題をはじめ、障害、疾患等への偏見・差別解消のための活動の推進 ・啓発品の配付 ・合理的配慮や感染症の正しい知識の周知	・児童生徒による人権作文及び人権標語集『みんなの』と選定された人権標語を印刷した啓発物品を作成し、配付した。また、障害のある方への「合理的配慮」のため啓発文言を印刷した啓発物品も作成し、配付した。これらの取組で、人権意識の向上が図れた。
②男女共同参画社会の実現	
具体的事業	成果及び課題
ア セクシャルハラスメントやDV等の防止活動の推進 ・啓発品の配付 ・セクシャルマイノリティ等の知識の周知	・人権意識向上のための啓発物品を作成し配付することで、啓発が図れた。 ・LGBTQ の講演会を実施し、正しい知識の習得が図れた。
イ 男女平等を実現する啓発活動の推進 ・啓発品の配付	・男女平等等をテーマにした人権啓発 DVD を購入して啓発事業に使用し、啓発を図った。
③国際理解教育・国際交流の推進	
具体的事業	成果及び課題
ア 外国人と交流し文化等に接する機会の提供 ・外国人留学生等との交流事業の実施	・外国人留学生等との交流事業は、感染症拡大防止のため実施できなかった。

6 点検評価の結果

評価者：早稲田大学人間科学学術院 副学術院長 扇原 淳氏

点検評価の結果について、評価者から以下の意見を頂きました。

- 1 確かな学力と自立する力の育成
 - ・ 皆野っ子自主学習ノート等を活用して、家庭学習の習慣化が図れていることは高く評価できます。また、ICT教育の推進と情報活用能力の育成の観点から、タブレットの活用やデジタル教科書を活用した取組による個別最適な学びの推進については、教師の主体的かつ実験的な取組を推奨し、質的量的な観点から効果検証を期待します。
 - ・ 学校司書・図書支援員を活用した取組によって、図書利用割合が増えたことについては、各教科での学びや情報機器の利活用や情報倫理の向上と関連付けた取組を期待します。
 - ・ 体系的・系統的なキャリア教育については、地域の人材に加えて、グローバルな視点を新たに加えるなど、広く皆野町と関連のある方の活用を期待します。
 - ・ みんなの学校プロジェクトについては、基本理念にある「心にふるさとと夢を宿し、生きる力を培う教育と文化の町」の具体物として期待します。これまで蓄積された多様な実践の体系化と合わせて、新たなカリキュラム、教材開発については、行政からの支援に加えて産官学民の連携・支援体制の構築が求められます。
- 2 豊かな心と健やかな体の育成
 - ・ 健康こども課、児童相談所と連携したいじめ・不登校対策やスクールソーシャルワーカーと連携した取組については、さらに家庭、地域、医療機関と連携した発展・継続的取組を期待します。
 - ・ 生涯を通じた健康的なライフスタイルの構築の観点から、栄養教諭による食育授業の推進は高く評価できます。さらに、家庭、地域と連携した発展的取組を期待します。
 - ・ 感染症拡大の影響によって減少したスポーツ・運動の機会については、体力向上のみならず身体的教養の育成を目指した取組の充実が求められます。
- 3 質の高い教育環境の整備
 - ・ タブレットについては、授業での使用促進に加えて、自宅に持ち帰って使用することを想定して宿題や課題の電子化を進めたことは評価できます。
 - ・ 一方、ICT活用指導力の向上については、さらなる研修制度の充実に加えて、日常的に機器サポートを行う人材の確保・養成が必要だと思われます。
 - ・ コミュニティ・スクールにおいて地域と連携した熟議が重ねられたことは高く評価できます。学校を中心とした学びを中心としたまちづくりのひとつの形として、各学校・地域の特徴を生かしたさらなる教育の推進を期待します。
- 4 伝統文化継承と文化財保護・活用の推進
 - ・ 感染症拡大のなかでも、資料点検や保存啓発事業を展開できたことを高く評価できます。今後は、デジタル教材作成事業をさらに進め、ICTを活用してVRやオンラインによる文化財保護・活用事業の推進を期待します。
- 5 「ひと」が輝くまちづくり
 - ・ 感染症防止対策の観点から、人権対策に関する研修が資料研修であっても開催した点は評価できます。今後は、オンデマンド型やオンラインと併用するハイブリッド型など多様な研修プログラムの構築を期待します。
 - ・ 外国人留学生を中心とした外国人との交流事業は実施できなかったようですが、皆野町地域おこし協力隊が中心となって、海外高校、大学と県立皆野高校との間でオンラインでの交流が複数回行われています。今後は、地域おこし協力隊や皆野高校とも連携した国際理解教育・国際交流の推進を期待します。